

日系企業過去最大120億円投資 — 日本文化発信基地 —

小 高 芳 宗
(ホテル三日月グループ)
代 表 取 締 役



【ゆったり♪たっぷり♪の～んびり♪…】

ご愛顧頂いたお客様をはじめ、ステークホルダーから地域関係者の皆様のお陰様を持ちまして、ホテル三日月グループ（千葉県：勝浦市、鴨川市、木更津市（龍宮城） 栃木県：日光市 鬼怒川温泉 計4か所）も今年で創業59年を迎えます。

2019年、ベトナム国ダナン市に日系企業過去最大の120億円の大型投資として総開発面積約13^{ヘクタール}に及ぶ大型リゾート開発を着工しました。順次開業予定の施設は、日本風ヴィラ（48室）&レストランが2019年開業。2020年、アジア最大級1^{ヘクタール}の全天候型スパドームを開業。2021年、22階建て294室、屋上にはインフィニティ温泉プール



「ダナン三日月完成予想図」

を設置した、ダナンビーチ初の5スターホテルを開業致します。それは、奇しくも弊社グループの60周年の年となります。これは、2019年4月にホテル三日月がM&Aした100%出資子会社が、土地建物（アセット）からオペレーションまで一貫して経営する身の丈以上の挑戦です。

発案からたった2年で着工を迎えられましたのは、弊社を信じて90億円のシンジケートローンを組成して頂いた、商工中金を始めとする金融団の皆様方のおかげです。心より感謝を申し上げます。先立つものが無ければ夢に挑戦する事すらできません。「地域の未来を中小企業と共に」と書かれた商工中金のスローガンカードを見て、勇気もらった経営者が何人いたのだろうか考えると胸が熱くなる思いです。

【ファウンダーとの突然の別れ】

本プロジェクトは、30年先の日本のマーケット変化と、人口減少を見据え、創業者が夢見た5スターホテルです。土地を見て、地主と出会い、さあこれから計画を描いてバンクミーティングをお願いしなければ、と、思った矢先に、創業者は突然亡くなりました。これも神の思し召しかないと感じました。そして、これは甲い合戦ではなく、経済合理性に基づいて挑戦する経済活動であり、創業者が命を燃やしながら「不退転の決意」でやろうとした、日本旅館の夢であると、自らを鼓舞しました。

【グローバル化に向けたアジア人達の相乗効果】

M&Aした現地会社のベトナム人スタッフ70名、日本国内で約3年に渡り正社員採用してきたベトナム人社員約70名、そして日本人スタッフ約1,000名。人種、国籍をボーダーレス化し、社訓の「和」にあるように、国境を超えてアジア人同士、目先の自己の利益にとらわれずに「和を以て貴しとなす」事に、全社員の総力を挙げて挑戦致します。

【国内事業（ディフェンス）と海外事業（オフェンス）の二刀流】

また、中小企業最大の強みである「意思決定の早さ」を活かした経営判断を重ね、海外事業はもちろんの事、国内事業をより強固な礎にするために、ライフサイクルコストを鑑みた修繕維持投資と、新規商品投資を「毎年一つ重ねよう」と意気込み、実行しております。

2019年の国内事業の目玉は、千葉県勝浦市（一部鴨川市）に設置した千葉県初・関東最大級の海上アスレチック『勝浦ウォーターアイランド』が、減少の一途を辿る海水浴客を前年比で352%に伸ばし、昭和中期の隆盛を彷彿とさせた事です。創業者が遺した「観光地は創るもの」という理念を体現し、勝浦市観光協会における日本版DMO¹計画の柱になりました。

2020年の国内事業の目玉は、きぬ川店に鬼怒川温泉でNO.1のロケーションを有する、海外の最先端5スターホテルをオマージュした水盤のテラス・庭園・お風呂・プールをミックスさせた「おぷーろ」を作ります。グローバル展開している旅館らしく、勝算設計あふれる商品になる予定です。

【持続的発展の為に…】

日本は世界2位に10倍以上の差をつけて、100年企業が世界で1番多くある国です。

その行動様式には、伝統を継承しながら環境変化に適応し、革新し続けるマインドと、地域社会と共生し続けるマインドがあります。企業の平均寿命が23年と言われる時代に、59期を迎える弊社は、長く続く伝統的で不変的な良い部分を残しながらも、「今ある価値観が最善」とは思わず、常に「どうしたら今よりも良くなるだろう」という意識を持ち、「問題が無い」ことを「問題」としながら、顧客満足度と従業員満足度の向上に努めます。また、「設備投資に金を掛け過ぎて潰れた会社はあっても、社員教育に金を掛け過ぎた事で潰れた会社は無い」と、プロの経営ジャーナリストと、旅館コンサルを招聘し社員勉強会を始めました。日本でも古くから教養人の必読書であり、長い時代を築いた北条政子や徳川家、代表的日本人とも称される日蓮などが愛読したという、持続的発展のバイブル【貞観政要】²までも身につけようと幹部社員中心に勉強を始めました。創業者の『英雄型経営』と、下達上通組織の『参加型経営』を二刀流で実践し、時代の流れに適応する、質の高い三日月スタッフの教育に挑戦します。

そして、経営が安定している良い時に慢心せずに「次の一手を打つ」事をブレイクスルーポイントとします。

創業者を亡くし、羅針盤不在の先行き不安からリスタートしたホテル三日月第2創業期は、日系企業過去最大投資のプロジェクト着工が、見える景色を変えてくれました。夢に賛同し、集まる人達を骨ごと抱きしめます。そして創業者の経営理念と社訓を守り、『冷静(そろばん)と、情熱(勇気ある経営判断)]を併せ持つスパリゾートとして、海外まで日本文化を発信して参ります。

いつか誰かがやるなら、ホテル三日月がやってみたいから・・・。

1 DMO Destination Management / Marketing Organization (観光地域づくり法人)：地域の多様な関係者を巻き込みつつ、科学的アプローチを取り入れた観光地域づくりを行うかじ取り役となる法人。

2 貞観政要 じょうがんせいよう：中国史上最も安定してた治世の一つを築いたといわれる唐の第二代皇帝 李世民。彼と彼を補佐した重臣たちとの問答をもとに編さんされた書。